

# 千葉県市原市廃校活用事例発表 (旧高滝小学校)



千葉県市原市  
都市戦略部  
公共資産マネジメント推進課

(Mail)

[koukyoushisan@city.ichihara.lg.jp](mailto:koukyoushisan@city.ichihara.lg.jp)

# 市原市の概況



位置	房総半島の中央部に位置
人口	272,889人（8月1日現在）
面積	368.17km <sup>2</sup> 千葉県最大の面積
特色	首都圏からのアクセスが良く、南北に広い。北部に京葉臨海コンビナートが立地する一方、南部に自然豊かな里山が広がる。

# 旧高滝小学校の立地、状況



# 公募型プロポーザル

## (主な条件)

- ・ 土地は貸付、建物は売却と貸付の選択制（貸付は最長20年）
- ・ 事業費は、全て事業者が負担（耐震工事含む）
- ・ 契約後2年以内に事業開始

## (結果)

- ・ 事業者：株式会社グランバー東京ラスク  
（運営はグループ会社の株式会社HAMIRU）
- ・ 事業内容：グランピング施設及びラスク工房

# 取り組みについて(1)

## ・地域との調整（地元説明）

地域住民の愛着  
サークル活動  
緊急避難場所



地元説明会の実施  
地元団体との調整  
応募条件の調整

## ・活用方法の検討（サウンディング）

情報不足  
⇒需要はあるか  
⇒条件設定は妥当か

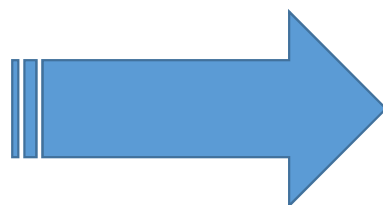


サウンディングによる  
聞き取り内容により調整

## 取り組みについて(2)

- **情報発信**

情報発信の場の不足



文部科学省HP掲載  
県HP掲載・バスツアー  
マッチングイベント

- **補助制度の活用状況**

当初は予定なし



地域経済循環創造事業交  
付金（総務省）

# 活用事業者決定の決め手(1)

- ・ **市の求める方向性と一致**

(市)

観光事業を中心とした  
地域内の経済の活性化



(提案内容)

グランピング事業及び  
ラスク工房

- ・ **事業内容が魅力的**

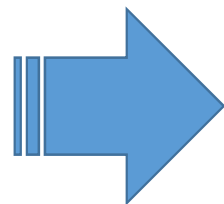
グランピング・ラスク工房

宿泊以外にキャンプやラスク工房の体験事業自体が  
旅行の目的になり得る。

## 活用事業者決定の決め手(2)

- **事業の継続性**

長期の利活用のため  
事業の継続性が課題

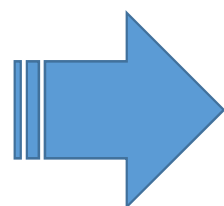


グランピング事業の実績  
経営状況

- **地元との協力**

(地元要望)

記念碑の保全  
緊急避難場所の維持



(提案内容)

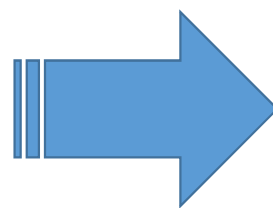
地元要望を満たした  
提案



# 苦勞したこと、工夫した点、留意した点

## ・ 廃校の整理

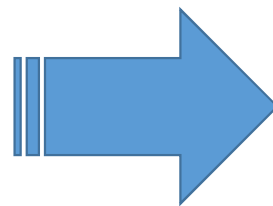
利活用を想定していない  
維持管理



物資の運び出しなど、  
細々としたことの  
調整の数が多い。

## ・ 建物の構造

学校独特の構造  
(部屋の広さ、窓の多さ)



提案事業に使用するための  
改修工事が難しい。

# 廃校活用のメリット

## 1 維持管理費が不要に（マイナスの解消）

電気・ガス・水道料金

浄化槽・消防設備等の点検、警備

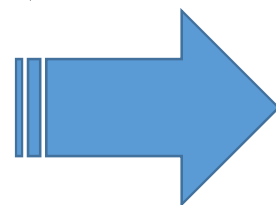
草刈・樹木伐採

- ・年間100万円以上
  - ・手続きの事務
- ⇒不要に

## 2 地域活性化（プラスの創出）

廃校になる状況

（少子化、人口減）



事業の実施

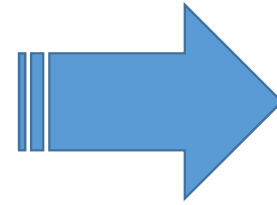
- ・雇用の創出
- ・移住・定住者の増加

# 今後の展望

- ・ **旧高滝小学校利活用事業**

4月20日オープン

新型コロナ対策も十分

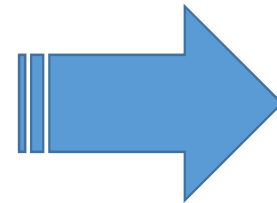


高滝地区の事業と連携して、更なる事業展開

- ・ **その他の廃校利用**

活用中の廃校

今後廃校となる見込みの学校



公募型プロポーザルの実施を予定

## (連絡先)

- 市原市役所  
都市戦略部 公共資産マネジメント推進課
- 電話番号  
0436-23-7007
- メールアドレス  
[koukyoushisan@city.ichihara.lg.jp](mailto:koukyoushisan@city.ichihara.lg.jp)